

将来の選択肢は、広がったかな？

去る9月23日（水）、金津中学校において「職業研修講座」が開催され、田原管理者、小林介護課長が講師として「福祉のお仕事とは」というお話をさせていただきました。



対象となる生徒さんは、中学2年生。

就職に直面している年頃ではないけれど、今から色々な分野に興味を持って進路をきめられる年齢なので、「福祉のお仕事」を身近に感じて、少しでも興味を持っていただけたらとの思いを込め、話を進めました。

田原管理者から、

- ・福祉のお仕事には、3つの法律があり、それぞれの法律に従い、どんな仕事内容があるのか。
- ・福祉業界で働く人が、どんな資格を持っているのか。
- そして、資格を取るためには、どんな進路があるのか。

などの説明がありました。

第1班の生徒さんは、初回だったこともあり、ちょっと緊張しているような雰囲気だったので、ちょっと実践！



まず、小林介護課長から、実際に介護する時には「人間の身体の仕組み」を勉強することで、要介護者よりも体格の小さい介護者であっても、負担なく介護ができるという説明がありました。そして・・・

「人差し指1本で、椅子に座った状態から立てなくする方法」、「開こうとしてもなかなか開くことができないほど強く握りしめたこぶしも、親指から開くのではなく、やり方を変えるだけで開きやすくする方法」が実演され、2人1組になって、いよいよ検証です。

実際に体験してみてどうでしたか？「人間の身体の仕組みって面白い！」という気持ちが、皆さんの笑顔から伝わってきました。

第2班は、代表者2名の生徒さんに車いすに座ってもらい、福祉車両の乗車体験をしていただきました。



「乗ってみて、社内は狭かったかな?」「乗り心地は良かったですか?」
「リフトが上がる時、下がる時、怖くなかったかな?」

福祉車両の中を見る機会はなかなかないので、興味をもっていただけたと思います。

また、希望者2名が車いすに座り、教室までお友達に押してもらって移動。
車いすに座っている人の体感スピードと、押している人の体感スピードに差があること、
声掛けをせずに車いすを動かすと、座っている人にとっては怖い思いをすることなど、発見があったのではないのでしょうか。

質疑応答では、「国家試験はどんな問題が出るのですか?」
「なぜ介護のお仕事を選んだのですか?」などの質問がありました。



この体験を忘れずに、介護を必要とする方、車いすを使用する方が身近にいるような時には、声をかけてあげたりしてもらえたらと思います。そして、将来の選択肢の1つに「福祉のお仕事」が加えてもらえたら嬉しいです。